

「第八期矢祭子ども司書講座」にチャレンジする君たちへ

あなたが最近読んで、感動した本は、何という本ですか？

あなたが小学生になってから今までに読んだ本の中で、いまでも心に残る本を三冊選ぶとしたら、どんな本を挙げますか？

あなたが感動したり楽しくなったりした本の中で、友達にも読んでほしいと思う本は、どんな本ですか？

本は、自分の心を育ててくれるだけでなく、同じ本を読んだ人同士が感想を語り合うことで、心のつながりを深める役割をはたすことが少くないですね。

そのような本のすばらしい力を、たくさんの人たちに本を紹介することによって、どんどん発揮させてくれるのが、図書館です。

そのような役割をはたす図書館ではたらく人たちは、具体的にどのような作業をしているのでしょうか。本はどのように分類して並べるのでしょうか。本が傷んだら、どのように修理するのでしょうか。学校図書館と大きな公立図書館は、どのように違うのでしょうか。

学校の生徒たちや地域の大人たちに、いろいろな本を魅力的に紹介するには、どのようなくふうをしたらよいのでしょうか。自分も地域の特色を理解したり、自然界の四季の変化を敏感に感じる感性を豊かにしたりしないといけませんね。

みなさんが子ども司書になるために、これから学ぶことはたくさんありますが、どれもふだんの授業では習わない事ばかりです。子ども司書講座が終わる時には、きつと「ああ、受けてよかった！」と思うでしょう。

さあ、子ども司書講座にチャレンジしよう！

平成二十八年七月二十六日

ノンフィクション作家 柳田邦男